



破壊された防潮堤(宮古市田老地区)



陸前高田市役所(陸前高田市)



津波被害を受けた大津港(北茨城市)

写真出展:財団法人消防科学総合センター

災害対策シンポジウム

～東南海・南海地震に備えて～

早期の復旧・復興に運輸、交通事業者求められることとは

入場無料

平成25年1月17日(木)13時開演

於:大阪歴史博物館 講堂

東日本大震災では、復興へ向け国、自治体、運輸・交通事業者が一丸となって人流、物流の復旧に立ち上がったことは記憶に新しいところです。一方、近い将来に高い確率で発生が予測される東南海・南海地震は、その人的被害が最大32万人に達するとされ、その対応が急がれています。そこで、阪神・淡路大震災の経験と復興への熱意の想いを新たに、被災からの復興の大前提となる、運輸・交通インフラの迅速な復旧、被災地域への救援物資等の輸送体制の確立の対策等の現状と課題など、広く認識を共有することを目的にシンポジウムを開催致します。

***参加申込書、当日のプログラムは裏面をご参照下さい。**

基調講演



京都大学大学院教授 平原和朗氏
(前日本地震学会会長・内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会委員」)

主催:(公財)関西交通経済研究センター ☎06-6543-6291 ✉ a.kankou@kankouken.org

後援:国土交通省近畿運輸局、近畿地方整備局、大阪航空局、神戸運輸監理部、第五管区海上保安本部

シンポジウムプログラム

13:00(受付12:30)	開会
13:00~13:05	主催者・来賓ご挨拶 (公財)関西交通経済研究センター会長 野村 明雄 国土交通省近畿運輸局長 大黒 伊勢夫氏(予定)
13:05~14:05	基調講演 京都大学大学院理学研究科教授 平原 和朗氏 『東南海・南海地震の発生メカニズムについて(仮題)』
14:05~14:50	講演1 国土交通省大臣官房参事官(運輸安全防災) 渡邊 元尚氏 『東南海・南海地震に備えた国の施策(仮題)』
14:50~15:00	休憩
15:00~15:45	講演2 日本通運(株)業務部専任部長 富田 博行氏 『東日本大震災における復興物流と支援体制(仮題)』
15:45~16:30	講演3 新日本海フェリー(株)取締役営業企画部長 佐々木 正美氏 『大規模災害時のフェリーの役割と課題(仮題)』
16:30	閉会挨拶

【会場】大阪歴史博物館 4階 講堂

★会場アクセス(大阪市中央区大手前4丁目1-32)

地下鉄谷町線、中央線「谷町四丁目駅」下車⑨番出口すぐ



公益財団法人

関西交通経済研究センター 行き

災害対策シンポジウム～東南海・南海地震に備えて～ 参加申込書

お申し込みの方は下記に必要事項をご記入の上、お送りください。

貴社名		
御住所 (〒 -)		
連絡先 TEL :	fax :	E-mail ☒ :
所属部署		氏 名
1		
2		
3		
通信欄		

*応募締切は平成24年12月14日(金)、但し、お申し込み多数の場合は、定員に達した時点で締切とさせていただきます。

*受付後、FAX又はEメールにて「受講票」を送信させていただきます。

*ご記入いただきました個人情報は、本目的以外には一切使用いたしません。

◆ 申込先 : 事務局／公益財団法人 関西交通経済研究センター 業務部

FAX : 06-6543-6295

E-mail : a.kankou@kankouken.org